



## 2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月4日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4361 URL https://www.kawachem.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年11月期第3四半期の連結業績(2018年12月1日~2019年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	5,525	0.9	74	△39.2	70	△41.2	42	△52.3
2018年11月期第3四半期	5,474	7.1	122	△37.1	119	△36.7	88	△34.5

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 24百万円(△67.9%) 2018年11月期第3四半期 76百万円(△49.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	34.75	—
2018年11月期第3四半期	72.83	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年11月期第3四半期	7,286	1,835	25.2
2018年11月期	6,780	1,847	27.2

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 1,835百万円 2018年11月期 1,847百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年11月期	—	0.00	—	—	—
2019年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日~2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	△0.1	150	△38.3	150	△37.5	100	△40.5	82.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年11月期3Q	1,220,000株	2018年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2019年11月期3Q	2,214株	2018年11月期	2,181株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年11月期3Q	1,217,808株	2018年11月期3Q	1,217,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年11月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外においては、中国の緩やかな景気減速が継続し、EUや米中における通商問題の動向が世界経済に与える影響により、不透明感のある中で推移しました。

一方、国内においては、輸出や生産に弱さがみられるものの、個人消費が持ち直し傾向で推移し、設備投資においても増加傾向を維持するなど緩やかな回復基調が継続しました。

当社の関連する国内の自動車業界においては、自動車生産台数は前年同期比でやや増加しましたが、ゴム工業用品生産ならびにタイヤ並びに合成ゴムの生産はほぼ前年同期並みとなりました。

このような環境の中、新規需要と内外の顧客需要変動への対応や、新製品の開発並びに紹介に注力しました。ゴム薬品においては、工業用品向けが内外とも前年を下回ったため、売上が前年同期を下回りました。樹脂薬品は主力製品における販売減の影響により前年を下回りました。中間体は、顧客の需要変化へ積極的な販売活動を行った結果、売上が前年同期を上回りました。その他薬品は品目ごとの増減がありましたが、新製品や新規需要での受注増により売上が前年同期を上回りました。併せて、原材料の調達確保やコストダウンを行うとともに、生産合理化検討を行い、生産数量や時期並びに人員配置の効率化に対し全社を挙げて取り組みました。また、当期竣工の新設工場稼働立ち上げに対し全力で取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は55億25百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は74百万円(前年同期比39.2%減)、経常利益は70百万円(前年同期比41.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円(前年同期比52.3%減)となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

## ① 化学工業薬品事業

売上高は54億97百万円(前年同期比0.9%増)、セグメント利益(営業利益)は51百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

## ② 不動産賃貸事業

売上高は28百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益(営業利益)は22百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(化学工業薬品事業の部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内向け工業用品向けゴム薬品は、加硫剤について前年同期比で売上を伸ばしましたが、加硫促進剤や老化防止剤において顧客の需要減により売上は前年同期を下回りました。タイヤ向け薬品並びに合成ゴム用薬品は国内需要が伸びた結果、それぞれ売上は前年同期を上回りました。海外向けゴム用薬品は、新製品の顧客開拓と顧客の需要変動に対し積極的対応により売上が伸びた製品もありましたが、東南アジアと中国において自動車生産台数が前年対比減となったことから、売上は前年同期を下回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品部門の売上は、32億94百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが生産が減少した結果、主力商品において顧客需要動向の影響により、前年同期を下回りました。海外向けは、既存顧客に対する拡販活動を積極的に行った結果、売上は前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は6億53百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

<中間体>

中間体部門は、界面活性剤中間体は、主要品目で販売増となり売上は前年同期を上回りました。染料中間体は、新規販売先の獲得により売上は前年同期を上回りました。農薬中間体は、主要品目において上半期に売上減となった結果、売上は前年同期を下回りました。医薬中間体・機能性化学品は、海外向けは前年同期をやや下回りましたが、国内で受注を獲得し販売増となったことから、売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は6億14百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

<その他>

その他分野は、環境用薬剤は、年末年始の需要減影響により売上は前年同期を下回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、全体では前年同期を下回りました。新規用途向けは、一部商品の売上が前年同期を下回ったものの、新規商品の売上が増加するとともに、既存商品においても新規需要を獲得し売上が前年同期を上回った結果、全体では前年同期を上回りました。

この結果、その他部門合計の売上高は9億33百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては7億2億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億2百万円、たな卸資産が1億74百万円、有形固定資産が4億48百万円増加したことに対し、現金及び預金が2億43百万円減少したことによりです。負債につきましては5億4億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億17百万円増加いたしました。これは主に、借入金が5億20百万円増加したことによりです。

純資産につきましては1億8億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に、その他の包括利益累計額が17百万円減少したことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月期の連結業績予想につきましては、2019年1月15日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	674,771	431,543
受取手形及び売掛金	2,447,624	2,549,780
商品及び製品	802,319	864,615
仕掛品	304,554	355,356
原材料及び貯蔵品	290,395	351,912
その他	28,672	56,960
貸倒引当金	△4,160	△4,334
流動資産合計	4,544,177	4,605,833
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	707,880	1,199,829
その他(純額)	1,283,947	1,240,988
有形固定資産合計	1,991,828	2,440,818
無形固定資産		
その他	16,111	22,355
無形固定資産合計	16,111	22,355
投資その他の資産		
その他	242,719	219,773
貸倒引当金	△14,074	△2,174
投資その他の資産合計	228,644	217,599
固定資産合計	2,236,584	2,680,773
資産合計	6,780,762	7,286,607
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,193,643	1,283,837
短期借入金	1,850,000	2,060,000
1年内返済予定の長期借入金	579,488	67,208
未払金	247,861	339,389
未払法人税等	39,889	—
未払消費税等	917	—
賞与引当金	—	64,560
役員賞与引当金	15,000	9,000
その他	350,017	120,877
流動負債合計	4,276,816	3,944,872
固定負債		
長期借入金	82,886	905,814
役員退職慰労引当金	86,792	93,653
退職給付に係る負債	335,730	360,206
その他	151,224	146,748
固定負債合計	656,633	1,506,423
負債合計	4,933,450	5,451,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,150,730	1,156,509
自己株式	△7,714	△7,746
株主資本合計	1,811,454	1,817,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,975	18,818
為替換算調整勘定	7,882	△707
その他の包括利益累計額合計	35,857	18,111
純資産合計	1,847,312	1,835,312
負債純資産合計	6,780,762	7,286,607

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)
売上高	5,474,371	5,525,552
売上原価	4,546,326	4,619,310
売上総利益	928,045	906,241
販売費及び一般管理費	805,808	831,905
営業利益	122,236	74,335
営業外収益		
受取利息	412	543
受取配当金	2,188	2,647
貸倒引当金戻入額	—	2,129
受取保険金	—	2,014
受取手数料	2,419	—
その他	6,459	9,273
営業外収益合計	11,480	16,608
営業外費用		
支払利息	9,550	10,564
貸倒引当金繰入額	639	—
為替差損	3,649	9,200
その他	550	976
営業外費用合計	14,390	20,740
経常利益	119,326	70,203
特別利益		
国庫補助金等収入	—	2,710
特別利益合計	—	2,710
特別損失		
固定資産除却損	2,363	10,237
特別損失合計	2,363	10,237
税金等調整前四半期純利益	116,962	62,675
法人税、住民税及び事業税	22,837	19,204
法人税等調整額	5,430	1,157
法人税等合計	28,267	20,362
四半期純利益	88,695	42,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,695	42,313

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	88,695	42,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,506	△9,156
為替換算調整勘定	△3,662	△8,589
その他の包括利益合計	△12,168	△17,746
四半期包括利益	76,526	24,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,526	24,566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,445,838	28,532	5,474,371	—	5,474,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,445,838	28,532	5,474,371	—	5,474,371
セグメント利益	99,411	22,825	122,236	—	122,236

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,497,160	28,392	5,525,552	—	5,525,552
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,497,160	28,392	5,525,552	—	5,525,552
セグメント利益	51,651	22,684	74,335	—	74,335

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。